

令和6年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

呉市立昭和北小学校
(昭和北中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	−1.7	−1.4
令和5年度	+1.8	+0.5
令和4年度	+3.4	+2.8

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

国語 話すこと・聞くこと 我が国の言語文化 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 情報の扱い方 本校 66 % 全国 67.7 % 県 69 %	重点課題	◎「話すこと・聞くこと」が、全国的にも低く本校も低い。メモを取る際に、話されたことを全て書いている児童が多く見られる。 ◎「言葉の特徴や使い方」の単位では、漢字の書き取りや主語と述語・修飾語を選択する問題に課題がある。 ◇登場人物の心情が、暗示的に表現されたときに、表現に着目して読み取る力に課題がある。(設問3二(1))【読むこと】
	改善の方策	◎活字に触れるために、新聞記事を月に1回国語タイムで読んでいく。 ◎国語の授業の最初の時間で音読をしていき、言葉の力を付けていく。 ◎隙間時間や国語タイムを使って、キュビナの漢字や言葉の問題の配信をする。 ◇登場人物の会話や行動、心情表現や情景描写に目を向け、気持ちを想像することを系統立てて行っていく。
	検証	◎2学期学期末テスト「知識・技能」目標70%→結果73% ◇標準学力調査類似問題(第3～6学年, 2月)目標80%→結果60% R4全国学力(設問2-(2))(第5, 6学年, 2月)目標80%→結果63%
算数 数と計算 図形 変化と関係 データの活用 本校 62 % 全国 63.4 % 県 64 %	重点課題	◎道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて説明することに課題がある。(設問4(3))【変化と関係】(平均正答率25.5%) ◇目的に応じて収集したデータを分類整理し、適切なグラフに表し、身の回りの事象について考察することに課題がある。(設問5(3))【データの活用】
	改善の方策	◎速さを比べる学習において、長さや時間を基に速さを捉え筋道を立てて説明する活動を取り入れる。また、その他の単位についても、根拠を明確にして考えを説明させる。 ◇算数科や社会科などでグラフを読み取る活動を丁寧に行う。 身の回りの事象をグラフを使ってまとめたり、分析したりすることで、生活の中でグラフを活用する力を付ける。
	検証	◎5学年「速さ」の単元末テスト(思考・判断・表現)目標70%→結果70% 6学期学期末テストにおける「速さ」の問題(思考・判断・表現)目標70%→結果93% ◇データと活用に関する市販テストの問題(1～3学年, 2月)目標80%→結果86% R2 ⁴ (3)(第4～6学年, 2月)目標70%→結果91%

【来年度に向けて】

国語科、算数科とも思考力を問う問題に課題があるため、授業や朝のはげみタイム、家庭学習等で毎日タブレットドリル「キュビナ」に取り組むとともに、児童が既習事項を活用して考え表現する力を高める授業改善を図る。また、児童が主体的に課題解決に取り組む、学びの高まりが感じられるような授業づくりに全職員が協働しながら取り組む。

国語科では、音読や意味調べの学習を授業中に位置付け、言葉の力を身に付ける。算数科では、根拠を明確にして考えを説明する力を育成する。また、「データの活用」領域の学習では、日常生活や他教科等と関連させながら問題解決する力を養う。